

Library Mate

レオナルド・ダ・ヴィンチの 「最後の晩餐」

大学 美学美術史学科

専任講師 片桐 頼 継

レオナルド・ダ・ヴィンチが「最後の晩餐」でまず第一に表現した内容は「ユダの裏切り」です。弟子の裏切りをイエスが予言すると、弟子たちの間にまるで波が伝わるように衝撃が走ります。張本人のユダはオロオロと狼狽しますが、他の弟子たちは彼が裏切り者だということに気がつきません。まさか教団の幹部であり会計係だった人物が裏切るなどとは。まるで今日の私たちがサスペンスドラマのクライマックス・シーンを見ているように、当時の人々はこの絵を見てドキドキハラハラしたことでしょう。

ところが、完成当時から絶賛され、ルネサンス美術だけでなく、西洋美術あるいは世界の美術の歴史における最高傑作として尊敬されてきた作品であるにもかかわらず、さまざまな悪条件が積み重なり、この壁画の保存状態は最悪でした。絵の具の剥落、絵肌の亀裂、かび、汚れ、後世の誤った加筆や上塗りなど、絵を悪化させる要因が壁画を覆い尽くし、もはや瀕死の状態にあったといっても言い過ぎではありません。

そして今回、20年という膨大な時間と労力が費やされ、「最後の晩餐」は何とか一命を取り止めました。しかし今後いつまでこの世界遺産がもつのか、専門家の間でも予測できないというのが現状です。それにしてもレオナルドが3年もしくは4年で描き上げ

たのに、それを修復するのに20年の歳月を要したというのは、ちょっと考えると妙な感じがします。しかしそれだけ困難な作業だったわけですね。

修復作業はようやく今年の初旬に完了し、「最後の晩餐」は5月28日から再び一般公開されました。洗浄によってオリジナルの姿が明らかになった傑作を見ようと世界中から人々が集まり、連日予約でいっぱいです。それでもキャンセル待ちなどの観光客で長蛇の列ができています。

今年の9月、美学美術史学科の学生31人が参加した美術鑑賞ツアーでも、さっそくグラツィエ修道院を見学コースに加え、この傑作を鑑賞してきましたが、これまで埋もれていたその美しさに皆ため息を洩らしました。



「最後の晩餐」

清水浜臣本 うつほ物語

大学院 文学研究科

非常勤講師 野口元大

さきごろ本学図書館の黒川文庫に新しい書物が加わった。清水浜臣が自らの考察・研究を詳細に書き入れた『うつほ物語』の写本一部20冊の袋綴じ本。表紙は淡黄色の厚手紙に花菱つなぎ文様の空押し、料紙は薄葉の斐紙で、古写本を敷き写しにしたものかと推測される。

『うつほ物語』は、現在ほとんどの活字本の底本には前田本が用いられ、一部に浜田本が採択されているが、この物語の研究が本格的に始まった江戸時代半ば過ぎのころは、これらの本は大家の秘庫に深く蔵され、市井の学者の手の届くものではなかった。

そのために当時の学者たちは善本を求めて苦心し、彼らがかろうじて求め得て「古本」と呼んだテキストがあるが、本書はその姿を最もよく伝えるものと言

える。また『うつほ物語』の本格的な注釈書の最初のもものは浜臣の『空穂物語考証』であるが、本書はその準備段階の足跡を示している。

当時のテキストはかなり乱れたも

のだったので、研究の第一歩は、各巻の巻名と内容との一致、また巻の順序はどうあるべきか、といったところから出発しなければならなかった。さらに内容の理解に進もうとすると、文意が通じない箇所が続出し、巻によっては大きな錯簡があったりする。本書には至るところに、書き入れがされていて、行間にも上欄にも細かい字で、また墨ばかりでなく、朱や青で傍線が引かれたり、傍点・圏点が施されたりしている。幾度となく研究が重ねられたらしい。

それらを観察すると、求め得る限り他本との校異を取り入れて文意を把握しようとし、登場人物と彼ら相互の関係を明確にするしづけ、また考証や注釈を必要とする語句を摘出するなどの作業が行われて

いたことが読み取れる。

ことに大きな成果を挙げたのは、「初秋」と「国讓中」における大きな錯簡の復元の試みだった。ことに「初秋」ではほぼ成功していると言えよう。「国讓中」の場合は『空穂物語考証』ではあまり複雑に考え過ぎて混乱に陥っているのだが。

こうした緻密な研究によって、浜臣が研究者仲間での地位を高めるにつれ、本書も標準的テキストとなつたらしい。現在各所に残されている写本の中に、『清水浜臣本系統』と呼ばれる一群がある。それらの共通の特徴として、中世を通り抜けてきて写本の仮名遣いは大きく変化してしまっているのが通例なのに、歴史的仮名遣いが正しく保たれていることが注目をひいてきた。本書をよく見ると、問題の仮名

遣いの箇所では、もとの字がていねいに擦り消され、その上から正しい仮名遣いに改められている。浜臣の手で修正されたことが明らかで、疑問が晴らされるとともに、そうしたテキスト群はすべて本書の下位に



うつほ物語の一部(第1冊から第3冊)



うつほ物語第1冊目巻頭

立つことが確認できる。

図版でも見られるように、本書には各冊の冒頭に「清水浜臣蔵書」という大きな印、巻末には「泊泊舎蔵」の朱印があって、これが浜臣の手沢本であったことを明示し、書き入れは筆跡から浜臣自身の手になると認められる。巻頭下部に「黒川真頼蔵書」「黒川真道蔵書」また「黒川真前蔵書」の朱印があり、この本が黒川家代々のものであることが確認される。真頼の養父春村は浜臣と親しい交友関係にあったので、本書が黒川家に伝わったのは自然のことだった。戦後の混乱の中で黒川家の蔵書群から離れた本書がここ黒川文庫に再び戻れたことは、まことに所を得たものでめでたく嬉しい限りである。



学生に薦める本

吉武輝子『ブルースの女王 淡谷のり子』(文藝春秋社、1989年12月25日発行)について
(大学図書館所蔵 767 8 - A97Y)

大学 教職課程

教授 米澤正雄

吉武輝子『ブルースの女王 淡谷のり子』は、今年9月22日、92歳で亡くなった青森市出身の歌手、淡谷のり子(1907~1999)に関する入魂の書である。

この本の特徴は、「わたしのことをわたしよりもよく知っている」と生前の淡谷のり子が言った、叔父淡谷悠蔵への徹底した取材[自伝『野の記録』(全7巻)、『淡谷悠蔵著作集』(23巻)の読破など]にもとづいて、淡谷のり子を形成した家庭環境、社会的背景を詳細に説明し、彼女の人のなりの生成を克明に描き出していることにある(例、母みねの『青鞥』愛読と娘のり子の職業的自立に向けた子育て)。そしてこれに加えて、戦時下においてももんぺ姿で軍歌を歌わずに、一貫して、ドレス、ハイヒール、アイシャドウのスタイルでブルースやジャズを歌い続けた歌手淡谷のり子の足跡を、軍国歌謡曲を積極的に歌った藤山一郎(「わたしは音楽に関しては絶対に偏食をしなかった。しかし、淡谷さんは大変偏食をなさった」と対比することによって、浮き堀りにしていることにある。

私が本書を読了したのは、1990年12月10日であり、読後感は「青森県のことをこれほど調べてくれるとは。ただ感謝あるのみ。」であった。淡谷悠蔵が戦前農民運動に従事して投獄されたことや戦後社会党から国会議員になったことは既に知っていた。しかし、淡谷悠蔵がもともとトルストイを愛読する文学青年であったこと。戦後の高度成長の初期に、所得倍増計画を提唱する首相池田勇人に対して、国会において「所得倍増の中には農民も入っているのか」と質問して絶句させたこと。これらのことは、本書を読むまで、青森県出身でありながら、恥ずかしい

ことに全く知らなかった。そして、生前私の母が淡谷悠蔵に言及する時は「先生」づけて呼んでいたことが思い出され、この質問に示される淡谷悠蔵の姿勢を指してのことか、と思いがたつた。本書は、私にとって、自分が何者であるかを忘れそうになった時、読む本である。なぜならば、私の両親は淡谷のり子、悠蔵と同じ青森市出身であるので、本書を通して、私は、自分の存在の根への自覚を促されるからである。

もちろん、本書は読者それぞれの関心に応じて多様な読みが可能である。離婚した母子家庭に育った、天賦の才のある一個の女性の生き方として読んでみても、得るところが多いと思われる。歌手淡谷のり子の「美意識」(美輪明宏)「芸人として自分を美しく見せること」への「こだわり」(永六輔)[ともに、朝日新聞夕刊、1999年9月27日、「淡谷のり子さんを悼む」]の由来を、彼女の生育史にまで逆のぼってきちんと書き込んである、著者渾身の評伝を、ぜひ一読していただきたいと思う。

700



館員イチオシのクリスマスBOOK&ビデオ

イエス・キリストの降誕記念日クリスマスは、英語でキリスト“Christ”の、ミサ“mass”という意味。<X'mas>と書く場合のXは、ギリシャ語のキリスト(クリスト)の第1字を用いた書き方で、フランス語ではNoel<ノエル>、イタリア語ではNatale<ナターレ>と言います。

さて、このクリスマスをもっと楽しく過ごすために、図書館からお薦めの本とビデオを紹介します。

音 楽

この季節になると、皆さんが小さい時から耳にしてきたクリスマスソングが街に流れ始めますよね。メロディはよく知っていても、詩の内容や作曲者、誰が歌ってヒットしたか、など知らないことも多いのではないのでしょうか？

『ジャズ詩大全：別巻クリスマス編』では、21曲のクリスマス・ソングを紹介し、作詞・作曲者、作られた年などはもちろん、その曲を歌ったジャズシンガーの紹介や、歌詞の解釈など様々な説明がされています。中には、皆さんにも馴染み深い「Santa Claus is comin' to town」や「Silent night」なども収められていますが、歌詞の訳も、作曲されたままのオリジナルの歌詞をもとに訳されているので、私たちの知っている曲とは違ったものになっています。これを読めば、音楽好きのあなたも、いつもとは少し違った気分でクリスマス・ソングを楽しむことができます。



クリスマス料理

クリスマスに作られる料理はイギリス、アメリカは七面鳥のローストを主菜とし、フランスではローストチキン、オーストラリアではホグgett(羊肉)のローストが中心になるなど、鳥や肉のローストが多く用いられます。特にデザートは、イギリスではフルーツ、香料をたっぷり使った黒褐色のクリスマス・プディング、アメリカではクリスマスケーキ、フランスではブッシュ・ド・ノエル、と国により大きな特徴があります。

これらのクリスマス料理を自分で作ることが出来たら…。そんな手作り派のあなたの強～い味方になってくれるのが、『世界のクリスマス・クッキング』というビデオ。このビデオでは、世界各国のクリスマスにぴったりなお洒落なレシピをパーティー編2巻、オードブル編2巻の4巻に分けて紹介します。自分で作るのちょっと…。という方も、それぞれの国の独特のクリスマス・クッキングは、見ているだけで楽しめるはずですよ。

絵画

美術館や画集で西洋絵画を見ていて、登場人物の意味ありげなポーズや不可解な持ち物に興味を引かれることってありませんか？『**マリアのウィンク～聖書の名シーン集～**』は、そんなあなたの素朴な疑問に答えてくれる絵画の解説書です。解説書と言っても、全ページにわたってマンガやイラストによって構成されているので、美術の知識がない人でも楽しんで読み進めることができます。

新約聖書ではキリストの誕生は、マリアの処女懐胎に始まります。この聖母マリアの『**受胎告知**』シーン。マリアが、突然現われた大天使から「あなたは男の子を産むのよ。イエスと名づけなさい。」と告げられる場面は有名ですが、その中に描かれている百合はマリアの清純を、花瓶は肉体を象徴し、中でもガラスの花瓶は純粋を象徴しているのだそうです。

他にも、天使の階級の説明とか(9階級に分かれているんだって)、イエス・キリストの最後の晩餐から復活までのタイムドキュメンタリーなど、興味深い内容もりだくさんの1冊です。

写真集

最後にご紹介するのは『**妖精の国のクリスマス サンタクロースの故郷を訪ねて**』。

フィンランドのロバニエミという町から北へ8、オーロラ輝く北極圏にサンタクロース村があります。この本はその村での様々な景色、人々を写した写真集です。妖精が住んでいるといわれるこの国の大自然、クリスマスの礼拝風景、また、シーズンオフに釣や砂金取り(?)を楽しむサンタクロースの写真など、クリスマス気分をぐっと盛り上げてくれる写真がいっぱいです。



JOO

この他にも、図書館にはたくさんの本があなたを待っています。
皆さんが、心豊かなクリスマスがおくれることを祈って…。

- 紹介した本の所在 -

・大学図書館所蔵

『**ジャズ詩大全：別巻クリスマス編**』
村尾陸男著 1991
(767 8 Mu54 別巻)

『**世界のクリスマス・クッキング**』
(ビデオH569 11 1~4)

・短期大学図書館所蔵

『**マリアのウィンク～聖書の名シーン集～**』
視覚デザイン研究所編 1995
(193 Sh33)

『**妖精の国のクリスマス
サンタクロースの故郷を訪ねて**』
写真・伊藤愼一 文・稲垣美晴 1989
(293 892 89)

以上、クリスマス特集でした!!

『館員の横顔』

図書館の大事なこと

図書館事務部次長 浪岡正継

二十数年前の話で恐縮するが、司書資格を取得するための図書館実習を、駒場の日本近代文学館で受ける機会があった。

当時寄贈されたばかりの高見順旧蔵書などの外にも、北村透谷の使用した机や中里介山の檜（本物！）などの貴重な資料（お宝）を地下の書庫（倉庫）で拝見させてもらった。

その時「図書館で一番大切なことは何だと思えますか」と質問されたことがあった。突然のことなので返事に窮していると、「求められた資料が今何処にあるかを明らかにすることだ。」と云われたことを、今でも鮮やかに記憶している。

目録（データ・ベース）という形で蔵書を明らかにし、貸出されているか否か（貸出されてなければ書架に並んでいなければならない）で図書の現在を明らかにする。そのどちらでもなければ、現在購入可能なのか、他の機関の何処が所蔵しているのかを探すことで明らかにする。国内になれば、海外を探す。リクエスト・サービス；参考業務；図書館間相互協力と呼ばれるサービスも、この範囲を決して出てはいないのである。

上記の言葉に加えるとしたら何があるだろうか。それは、ひとりひとりの各利用者が十全な満足を得られるようにすることではないだろうか。自己充足性の高い質量共に高い蔵書、使いやすく・わかりやすいサインや検索方法、高度な情報検索サービス及び情報の提供或いは癒しの場としての図書館を、異なるひとりひとりのニーズに則して可能にすることであろう。現実的に不可能に近いのかも知れないが、理念としては決して不可能ではない。

学園創立100周年という歴史と共に書庫を見渡せば、歴史的価値を主張する資料、社会的現在を主張する資料が確かに存在している。また、学園を取り巻く現状がある。それらを情報ネットワークという世界的広がりの中で捉えると、図書館が担わなければならない現在の課題も、自ずから明らかになるのではないだろうか。

新館員になって

中村綾子

この10月から新しい図書館員となりました。よろしく申し上げます。図書館とは本を借りるところ、勉強するところ、居眠りをするとところとさまざまな方法で利用されています。私が学生の頃（数十年？前）は、暗く、寒い書庫の中で、調べものをしましたが、今は快適です。広い館内では、採光も充分で、どこにある本でも手にとって見る事が出来ます。さらにAV資料やインターネットなど本以外に図書館で利用できるものはたくさんあります。休講時など出来るだけ多くの機会に図書館を利用していただきたいと思います。また雑誌もたくさんあり、街の本屋さん立寄るような感覚で図書館に足を向けて下さい。あるとき人生の助けとなるような本に出会うことが、出来るかもしれません。

Library Mail

地下書庫が完成しました～短期大学図書館～

短期大学本館の地下にこの夏、念願の書庫が建設されました。完成した書庫は2層式で、フロアはそれぞれ約327。地下1階の集密書庫の収容冊数は14万冊、地下2階は7万冊です。

これまで増え続ける図書の保管場所に苦慮してきましたが、今後はこの書庫を大学・短大両図書館の保存書庫と位置づけ、最大限有効に使い、すべての蔵書が活用されるようにしていきたいと考えています。

<地下書庫の使い方>

地下1階の集密書庫（電動）には、利用度の低い図書から収めていきます。配架方式は図書のサイズ別で、大学本・短大本を混配します。このメリットは、1段の棚に同じ高さの本だけが並ぶことによって、空間の無駄を省けることにあります。電動集密書庫の特長を生かし、1冊でも多くの図書を収容する方法です。また、保存書庫ですので、同じ本は1部のみを保存します。

地下2階は通常の書架です。ここには大型本、洋書、重複図書、雑誌バックナンバー、奥村文庫、向田文庫の一部などを保管する予定です。

<短大図書館開架図書の今後>

すでにお気づきの方もいると思いますが、現在短大図書館の開架書架にある図書のなかに、7桁数字のラベルが貼ってあるものがあります。この数字が地下1階書庫での配架番号です。

来年の春休み中にこれらを地下書庫へ移動します。その数は総数で約15,000冊になる予定です。

これにより、皆さんが直接手にとって本を選べる開架書架には、今後は出版年や内容が比較的新しく、利用度が高い図書を置いていくこととなります。もちろん、各学科のカリキュラムに沿って、基本図書と思われるものや、短大生として読んでほしい教養図書は確実に残していきたいと考えています。

<地下書庫の図書の出納について>

地下書庫は構造上の制約から、図書館員以外は立ち入ることができません。したがって図書は館員が出納します。人と資料の安全を確保するために、この点を是非ご理解ください。

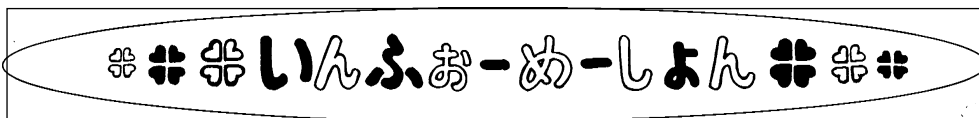
図書のデータは、すべて蔵書検索端末で検索することができます。検索した結果、地下書庫の本であることがわかったら、[書庫出納票]という用紙に記入して申し込んでください。これは教職員、院生、大学生も同じです。

次に出納の時間についてのお願いです。

地下書庫は短大図書館フロアと直接つながっていません。また、出納にあたって、データの確認などに若干の時間がかかるため、1日4回の時間制でサービスを開始します。この時間については、経過を見ながら変更していく可能性があることを予めお断りしておきます。

書庫出納票受付時間	図書の引渡し時間
1回目 9:00～11:00	12:10～
2回目 11:00～14:00	14:30～
3回目 14:00～15:30	16:10～
	(土曜は15:45～)
4回目 15:30～閉館	翌朝9:30～





1999年12月～2000年3月

大学図書館

冬休み特別貸出

期 間：12/13 ～1/7
 返却日：1/11
 対 象：図書のみ(雑誌は通常通り)
 冊 数：無制限

冬休み中の開館

開館日：12/21 22 27 1/6 7
 時 間：9:00～16:00

12月24日は書庫整理のため閉館

試験期の開館

1/8 ～1/22 開館時間延長
 月～金 9:00～18:45
 土 9:00～16:00
 1/24 ～1/27 9:00～18:00

試験期の貸出

1/8 ～1/22 3日間貸出

試験終了後の開館

開 館 日：1/28 ～1/29
 2/5 ～2/19
 3/6 ～3/25
 開館時間：9:00～16:00
 1/31 ～2/4 は入試のため閉館
 2/21 ～3/4 は蔵書点検のため閉館
 3/10 ～11 は後期入試のため閉館

春休み特別貸出

期 間：1/24 ～3/25
 返却日：4/10 [卒業予定者 3/18]

短期大学図書館

冬休み特別貸出

期 間：12/13 ～12/24
 返却日：1/11
 対 象：図書(指定図書を除く)AV資料
 冊 数：図書 無制限、AV資料 6点

冬休み中の開館

開館日：12/21 22 24
 時 間：9:00～16:00

試験期の開館

1/8 ～1/22 開館時間延長
 月～金 9:00～18:00
 土 9:00～16:00
 1/24 ～27 9:00～17:30

試験期の貸出

1/8 ～1/22 3日間貸出

試験終了後の開館

1/28 ～1/29 9:00～16:00
 2/21 ～3/18 9:00～16:00
 1/31 ～2/19 は入学試験・図書移動のため閉館(図書館カレンダーでは2/14～19が開館日となっていますが、変更になりました)
 3/10 ～11 は後期入試のため閉館

春休み特別貸出

期 間：1/24 ～3/18
 返却日：4/10 [卒業予定者は3/18]
 対 象：図書 無制限、指定図書 3冊
 AV資料 6点

詳細や変更は掲示にてお知らせします。

編 集 後 記

10月の人事異動で、浪岡さんが次長に昇進し、中高事務室より中村さんがスタッフに加わりました。詳しくは『館員の横顔』をご覧ください。また編集委員の平野さんが、短大の学生課へ異動になりました。実質的な編集長だっただけに、スタッフ一同残念です。

いろいろな事があった1900年代もあと少しで終わります。にぎやかにクリスマス特集と興味深い『最後の晚餐』で今年を締めくくることにします。

では、来たるべき2000年に乾杯!

Library Mate 第23号 1999年12月

発行所 実践女子大学図書館
 東京都日野市大坂上4-1-1
 URL: <http://www.jissen.ac.jp/library/>
 実践女子短期大学図書館
 東京都日野市神明1-13-1
 URL: <http://www.jissen.ac.jp/library/jcol/>

発行責任者 板垣弘子